

請願第2号

私立幼稚園保護者負担軽減並びに幼児教育振興助成に関する請願

紹介議員

長	尾	美矢子
清	水	敏行
常	盤	ゆかり
杉	谷	伸夫

私立幼稚園保護者負担軽減並びに幼児教育振興助成に関する請願

(1) 請願の要旨

1、 私立幼稚園保護者の教育費負担軽減のために、保護者助成金を増額していただきたい。

2、 私立幼稚園の設備助成金を大幅に増額し、地域に貢献する特色ある教育を進めるための運営費についても助成をお考えいただきたい。

3、 地域の幼児教育センターとしての機能を期待されている幼稚園に対して、その働きを支えるために、何らかの財政措置を行っていただきたい。

(2) 請願の理由

幼児期において、子どもたちは、その保護者や周囲の大人との愛情ある関わりの中で、守られているという安心感に支えられ、そして、自発的な遊びを通じて、生涯にわたる人格を形成していきます。そのために適切な環境を整え、子どもの心身に調和のとれた発達を促すことが、幼児教育の重要な役割です。幼児教育は、幼稚園、家庭、地域等の多様な場において行われており、それらの全ての場で質の高い教育が行わなければなりません。

保護者への助成金の意味

幼児教育を担っている家庭が、質の高い教育をできるように支援をお願いしたいのです。市町村レベルの助成金の増額は、家庭の子育てへの経済的な負担を社会も担ってい

く、というメッセージになります。社会に守られているという保護者の安心感が、子育てへの不安感をすこしでも払拭します。そのことは、少子化の歯止めになるでしょう。

幼稚園への助成金のお願について

質の高い幼児教育をするためには、その質を担保する幼稚園の存在が不可欠です。現在、急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く状況の変化により、家庭や地域など、こどもたちが適切な環境の下で幼児教育を受けるのが以前より困難になっています。

その上、人口構造の変化、国際化及び技術の進展等の社会情勢の変化に伴い、自立し、他者と協働しながら創造的に生きていく能力を子どもたちが身に付ける必要が生じ、そのために質の高い幼児教育を受ける必要性が高まっています。幼稚園が果たす役割は大きくなっています。その幼稚園を助成することで、地域と家庭の教育力の向上が可能になり、そして、真に将来の社会を支える子どもたちに育っていくのだと信じています。

(3) 請願の内容

保護者助成に関して

子どもは地域の未来そのものです。そして、個々の子どもの育ちを守るのはもちろん、その保護者です。しかし、地域の絆が弱くなっている現在、保護者は自分ひとりで子育てをしているという孤立感を深めています。現在園児ひとりにつき1ヶ月3,500円の助成金をいただいておりますが、さらに、社会全体があなたの子どもの子育てを支えているというメッセージを個々の保護者に届けるためにも、さらなる増額をお願いします。

私立幼稚園の助成に関して

全ての子どもへの健やかな育ちを目指し、質の高い幼児教育を実現することこそが、社会において最も重要な課題の一つです。国及び地方公共団体はもとより、幼児教育に関わる全ての者が相互に協力しながらそれぞれの役割を果たしていくことが必要です。そのため、幼児教育の中心を担ってきた私立幼稚園は、新たな状況に対応できる設備の充実を図っていきます。しかし、教育環境の整備や充実には多額の経費を必要とします。幼稚園の環境を整えることは、子どもたちが成長するための環境を整えることであり、その子どもたちの健やかな育ちこそが、地域の未来を創ることだと認識していただき、幼稚園の助成の増額をお願いするものです。

以上、私たち乙訓地区の私立幼稚園の保護者と教職員は地域住民の期待に応えるため署名簿を添えて助成をお願いいたします。

平成29年11月29日

向日市議会議長

永井照人様